新庄北高等学校（全日制）　２年　地理

# 新庄北高等学校におけるＩＣＴを活用した授業

日　時：令和４年６月１５日（水）１３:２５～１４：１５
場　所：２年２組
対　象：２年地理選択者　生徒７名
授業者：八鍬強太　教諭

**１　新庄北高等学校の特徴**　学級数：一般コース９学級、探究コース３学級、生徒数４４６名、教員数　４３名

山形県最上地区の基幹校として令和２年度に創立１２０周年を迎えた。校是を『文武両道』『質実剛健』とし、創立以来、一貫してリーダー育成がその使命であり、地域の期待を担って幾多の人材を輩出してきた。平成３０年度からは探究コースを設置し、地域連携を題材とした総合的な探究の時間に力を入れている。

令和３年度にChromebook(教員用)１５台配備。教室棟に大型掲示装置、Wi-Fi 設置。

令和４年度より、生徒１人１台端末（Chromebook）を全生徒に配付。

**２　研究主題**

一人一台端末を活用した地理的技能の向上

**３　単元名・目標**

単元名：人々の生活と気候

（１）世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が気候から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持つことや、気候の違いによって変容することなどが理解できる。（知識及び技能）

（２）世界の人々の特色ある生活文化について、その文化が見られる気候の特徴との関わりに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できる。（思考力、判断力、表現力等）

（３）気候に関する地理的事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察しようとする。（学びに向かう力、人間性等）

**４　単元計画（全６時間　本時２時間目）**

①生活と気候のかかわり（１時間）

ICT：大型掲示装置、Chromebook、Google Earth

**②技能をみがく【本時】（１時間）**

ICT：大型掲示装置、Chromebook、Google Earth、Google Classroom、Google Jamboard、タッチペン

③気候と人々の生活/熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯・寒帯(４時間)

ICT：大型掲示装置、Chromebook、Google Earth、Google Classroom、Google Jamboard、タッチペン

**５　主に活用した機器・コンテンツ**

・Chromebook　・大型提示装置（プロジェクター）　・タッチペン　・Google Classroom
・Google ドライブ　・Google フォーム　・Google Jamboard

## ６　本時の指導

（１）本時の目標

・世界の人々の生活に気候が影響していること、影響を与えたりして多様性を持つことや、気候の違いによって変容することが理解できる。（知識及び技能）

・世界の人々の特色ある生活文化について、その文化が見られる気候の特徴との関わりに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できる。（思考力・判断力・表現力等）

（２）指導過程

| 時間※1 | ●主な学習活動 | ○ICT 活用ポイント、留意点 | 使用機器<br>コンテンツ | 情報活用能力※2 |
|---|---|---|---|---|
| 導入<br>10 分<br>一斉<br>Ａ１ | ●既習事項の確認<br>地形と人間生活の関りを確認する。<br>●課題の掲示<br>全員で生活文化と気候の関連性を考える。 | ○GIS を活用し、氾濫原、扇状地、リアス海岸を３Ｄで掲示する。<br>○確認問題をフォームで解答させることにより回答の把握と共有をしやすくする。<br>○築地松の写真を大型掲示装置で、全員に共有する。 | ・大型提示装置<br>・Google Earth<br>・フォーム | Ａ２①ｆステップ４<br>目的に応じて情報の傾向と変化を捉える。<br>Ｃ１①ａステップ５<br>事象を情報とその結び付きの視点から捉えようとする。 |
| 展開<br>35 分<br>個別<br>Ｂ１<br>Ｂ４<br>協働<br>Ｃ１<br>Ｃ３ | ●課題の掲示<br>●ペアで写真を見て、写真ごとに設定された問の答えを考え、箇条書きでもいいので Jamboard に書く。<br>●解答を発表する。<br>●課題の掲示<br>●ペアで写真を見て、どんな工夫がされているかを考え、Jamboard に文章で書く。<br>●解答を発表する。 | ○変形樹、冬のオランダ、ラクダ市の写真を Jamboard で共有する(Classroom で課題配布)。同時編集しながら、写真に書き込みを行う。<br>○生徒が入力した内容を教員の端末から投影し、時間の効率化を図る。<br>○身近な具体例の雪国の家屋、防雪柵、矢羽の写真を Jamboard で共有する(Classroom で課題配布)。同時編集しながら、写真に書き込みを行う。<br>○生徒が入力した内容を教員の端末から投影し、時間の効率化を図る。 | ・Chromebook<br>・大型提示装置<br>・Jamboard | Ｂ１②ステップ３<br>情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見つけ他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察する。<br>Ｃ１①a ステップ５<br>事象を情報とその結び付きの視点から捉えようとする。<br>Ｂ１③ステップ１<br>相手を意識しわかりやすく表現する |
| まとめ<br>５分<br>一斉<br>Ａ１ | ●フォームに本時の振り返りを入力する。 | ○生徒の振り返りをフォームで回収する。 | ・ Chromebook<br>・大型提示装置<br>・ フォーム | Ｃ１②c ステップ４<br>情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し改善しようとする。 |

※１　本欄におけるアルファベットおよび数字で示した記号は、文部科学省「学びのイノベーション事業報告書 学習場面に応じた ICT 活用事例」に基づく表記を示す。

※２　本欄におけるアルファベットおよび数字で示した記号は、文部科学省「【情報活用能力の体系表例（IE－School における指導計画を基にステップ別に整理したもの)】(令和元年度版)全体版」に基づく表記を示す。

## 7　県教育センター所感

（１）　今年度より配付された Chromebook を生徒が効果的に活用していました。ペア・グループで写真を見ながら考えを書き込む作業では、一人が写真のスライドを映し、もう一人が出された考えを書き込むなど生徒が自ら工夫して使う様子があり、地理の学力を身に付けながら情報活用能力も育成されていると感じました。

（２）　小テストや振り返りに Google フォームを用いることで、思いがけない生徒の視点や考え方に気づくことができるというメリットを最大限に生かした内容の授業でした。生徒に共有することで生徒の視野も広がりますし、先生自身の授業改善にもつなげることができるものと思います。

## ＩＣＴ活用の様子

フォームを使って前時までの振り返り

情報検索しながらペアワーク

書き込み機能を使って意見交換

ペアワークの成果を全体に発表